

五行歌 ^{しん} ^{さい} 震災のうた展 ^{てん}

「なにも持たずになげなさい。今度はみんな助かりなさい。
いのちをかけた伝言を、明日に伝えてゆくために、
わたしたちは生きてゆきます」
～『つなみのえほん ぼくのふるさと』より～

「いのちをかけた伝言」に耳を澄ませてみませんか。



参加費
無料

令和6年

1/13 (土) 12:00~1/28 (日) 17:00 @下京いきいき市民活動センター

1/21 (日) 企画展特別プログラム

親子でつくってあそぶ
防災ワークショップ

要申込

10:45~12:00 (受付 10:30~)

災害後の「親子の心の安定のため」に
今からできることを、楽しく身につけよう!

- ・お菓子でローリングストック!
「お菓子バッグづくり」
- ・ドイツ発のボール遊び教室
「バルシューレ」

みんなできいてまなぶ
防災紙芝居

①13:00~13:30 ②13:45~14:15 ③14:30~15:00

紙芝居師小川よしのりさんによる、
防災に関する紙芝居の上演!

主催：京都市下京いきいき市民活動センター
(指定管理者：有限責任事業組合 まちとしごと総合研究所)

震災のうた展

東日本大震災で被災された工藤真弓さんと息子さん(当時4歳)が、津波から逃げた自身の体験をもとに避難所で書かれた「五行歌色紙」の展示を行います。



【工藤真弓さんプロフィール】

昭和48年 宮城県南三陸町に生まれる。
平成10年 神職の資格を取得後、実家の上山八幡宮ほか4社で奉仕。
平成23年3月11日 南三陸町にて東日本大震災に被災。
被災当日から10日間のことをしたためた五行歌集を基に「つなみのえほん ぼくのふるさと」を出版。



【江崎理絵さんプロフィール】

工藤真弓さんの五行歌や絵本、南三陸町への思いに心打たれ、平成23年6月から「震災のうた」の色紙掲示の場を探し中。これまで提供して頂いた19会場での23回の機会に感謝です。

親子でつくってあそぶ防災ワークショップ

日時：令和6年1月21日(日) 10:45～12:00(受付10:30～)

対象：3歳以上の未就学児とその保護者

定員：15組(子ども1名につき保護者1名、全員で30名)

応募多数の場合は抽選。1月上旬に発表します。

費用：無料

申込方法：右側のQRコードからgoogleフォームに入力

申込期間：令和5年12月1日(金)～12月28日(木)



●お菓子でローリングストック!「お菓子バッグづくり」 親子で「ホッとできる」備えをしよう!



【近藤佐奈枝さんプロフィール】

有事の際に冷静に行動できる人、協力し合える人が増えることを願い避難所運営ゲーム(HUG)をメインとした防災・減災活動をしている。カウンセラー及びカウンセラーのための集客サポートの仕事に従事。

●ドイツ発のボール遊び教室「バルシューレ」 「遊び」が、災害後の心の安定と困難を乗り越える力になるのです!



【千野春花さんプロフィール】

同志社大学スポーツ健康科学部4年生
1年間ドイツに留学した経験から、ドイツのボール遊び教室「バルシューレ」を参考にした健康コミュニティづくりを地域で行う。
今後もスポーツや健康づくりの視点でまちづくり・コミュニティづくりに携わっていきたい。

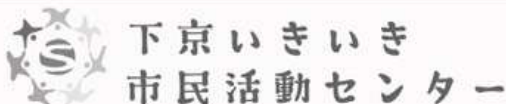
みんなできいてまなぶ防災紙芝居

「つなみのえほん ぼくのふるさと」の紙芝居版を、紙芝居師小川よしのりさんが上演します。ほか、クイズ紙芝居、昔話、幼児向け紙芝居など。お楽しみに!



【小川よしのりさんプロフィール】

難病『筋ジストロフィー』と向き合いながら、声を使って社会との繋がりを作ろうと師匠について修行した後、2023年6月からプロ紙芝居師になる。老若男女問わず紙芝居の魅力を思い出してもらおうと各地で活動している。



下京いきいき
市民活動センター

〒600-8207 京都府京都市下京区上之町38番地

TEL:075-371-8220 FAX:075-371-7708

MAIL: hello@shimogyo-ikiki.com

